

京都御苑（閑院宮邸跡、蛤御門、近衛邸跡等）、三条界限散策

元治甲子戦争（禁門の変）を学習しているので、その舞台である「京都御苑」を訪ねることにした。



地下鉄丸太町駅下車。東に歩いて京都御苑の南側「堺町御門」から御苑に入った。



堺町御門からすぐ左手に見える「九条邸跡」。茶室「拾翠亭」があります。



九条邸跡の隣にある厳島神社。



「閑院宮邸跡」見学。中は博物館（無料）。



「蛤御門」昔は東寄り南向きに建っていたとのこと。本日、出発前に中村先生から「昔の記録には、禁門の変後に門は「無残な姿になった」とあるが、現在、門に残る銃痕は「手の届く範囲」にしかついてない。あれは観光客がついついたりして出来たものですよ。」って言われてショックでした。改めて銃痕を見ると、確かに観光客の作品のようにも見えて来ました。説明の看板には、「銃弾の痕らしきもの」と書かれていました。

この後、京都御所に向かいましたが、CLOSED でした。月曜日と第二火曜日は休みとのこと。もともと先週に訪問予定でしたが、台風のため一週間ずらして結果的に第二火曜日になってしまい、またまたショックでした。

気を取り直して、京都御所の北側に回りました。



京都御所の北隣、近衛邸跡。五摂家の一つ。
春には、糸桜が見られるとのこと。



御所東北角の猿ヶ辻。木彫りの猿が鬼門除け。
この猿は歩き回るので、金網に閉じ込めているそう。

ここで、京都御苑を東側の清和院御門から退出して、北側に梨木神社を見ながら、東に進み河原町通へ。
「京都府立医大」からバスに乗り、「京都市役所」で下車。長州屋敷の場所を確認します。



京都市役所でバスを降りてすぐ、ホテルオークラ西側に「桂小五郎の像」「ええ男や」
ホテルオークラの南側、御池通に回ると、「長州屋敷」の石碑。

更に高瀬川に沿って南下して三条通手前で、「佐久間象山先生遭難の碑」。本日午前中の授業で習いました。
佐久間象山は横井小楠と並ぶ洋学の第一人者であったが、開国論者であった。「彦根遷座」を主張したため、
1864年7月11日、三条木屋町上ルで、尊王攘夷派の浪士である河上彦斎により暗殺された。

本日でできなかった京都御所見学は、紅葉の季節に再度計画することになった。
中村先生の授業後に訪問することは可能であるが、第二火曜日に注意が必要である。